

CALEDONIA-5 および CALEDONIA リテーラー アセンブリ マニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報.....1	電線の配線と設置.....19
ツールと備品のリスト.....2	機械ケーブルの配線と設置.....21
Caledonia-5 および Caledonia 部品リスト.....3	ハンドルバールーティング - 電動.....23
小さな部品.....4	ハンドルバー ケーブル ルーティング - 機械式.....24
カレドニア-5 AB09 ハンドルバー.....7	シートポストの組み立てと取り付け.....25
カレドニア-5 ST31 & ST32 ステム.....8	Di2 バッテリーの取り付け.....26
フレームとコンポーネントの準備.....9	インデックススルーアクスルの取り付け.....27
カレドニアフォークの準備と取り付け.....12	エアロスルーアクスルの取り付け.....29
Caledonia-5 フォークの準備と取り付け.....14	タイヤ/リムクリアランス.....31
Caledonia-5 スタック調整.....16	マッドガードの取り付け.....32
ブレーキホースのルーティング.....17	

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo販売店がCaledonia-5およびCaledonia自転車の独自の組み立て要件を満たすためのものです。この自転車の組み立てには専門知識と専用工具が必要です。付属の説明書に従わず、Cervélo指定の部品のみを取り付けないと、不適切かつ危険な組み立てとなり、制御不能やライダーの重傷につながる可能性があります。

注意: Cervélo では、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 認定販売店で実行することを強くお勧めします。

このマニュアルを読んでいるCervélo Caledonia-5またはCaledoniaの消費者/購入者は、このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、Cervéloの正規販売店に相談するか、www.cervelo.com/supportにアクセスすることを勧めます。

このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを備えていることを前提としています。詳細は<http://www.probma.org/>をご覧ください。

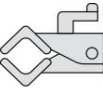







ツールと備品のリスト


このマニュアルでは、Caledonia-5およびCaledonia自転車の調整手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。

Cervélo では、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 認定販売店が実行することを強くお勧めします。

注: Shimano や SRAM などの非独自コンポーネントはすべて、地元の販売代理店から入手できます。

注意: このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補充するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順 (この自転車に付属) を補完することを目的としています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド (シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド)
	2.5Nm~15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ
	プラスドライバー
	マイナスドライバー

ツール	
	ペダルレンチ
	ブレーキローターロックリングツール
	油圧ブリードキット
	イソプロピルアルコール
	Di2ワイヤーツール - シマノ
	高品質の自転車用グリースとカーボンアセンプリコンパウンド
	鋸切断ガイド (Park Tool SG-7.2または同等品)
	弓のこ (カーボンおよびアルミニウム専用ブレード付き)

CALEDONIA-5 & CALEDONIA パーツリスト

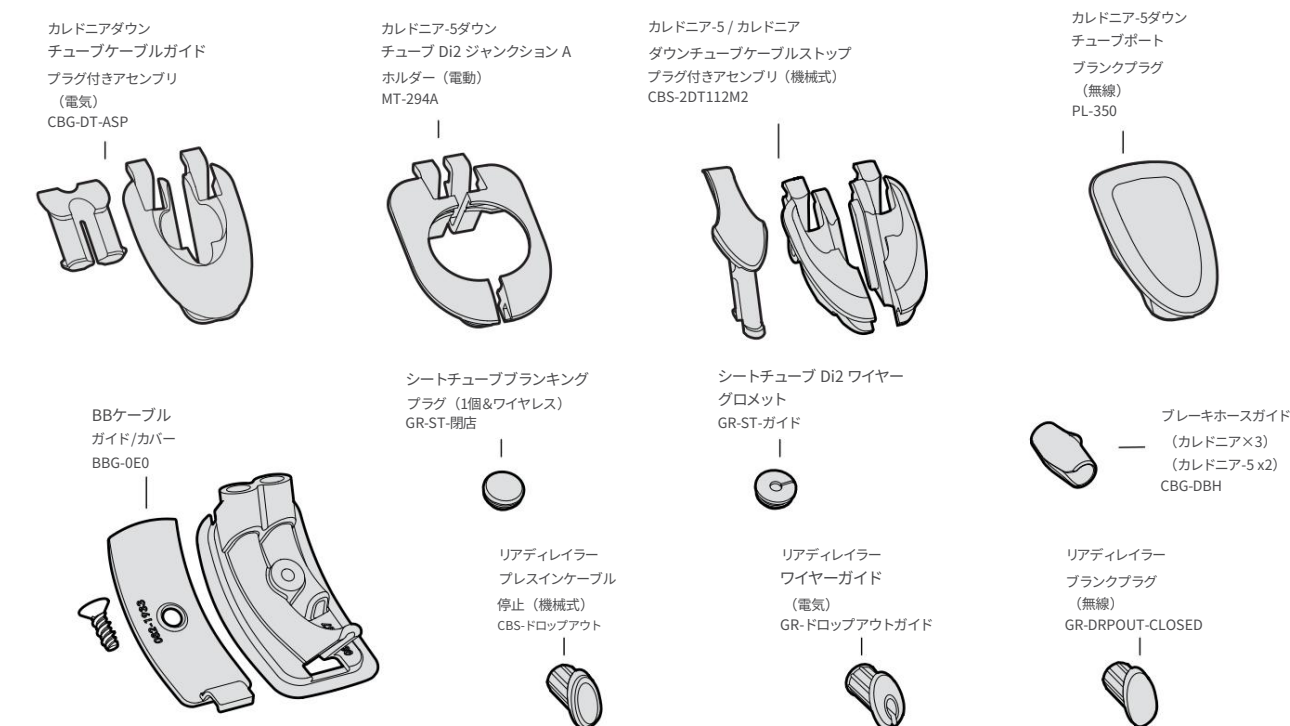
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
BBケーブルガイド/カバー BBG-0E0	
リアディレイラー 固定ナット付きハンガー	DRH-WMN112
固定ネジ付きねじ付きフォーク インサート	QRI-THD
シートチューブブランキング プラグ (1個&ワイヤレス)	GR-ST-閉店
シートチューブ Di2 ワイヤー グロメット (電子式)	GR-ST-ガイド
ブレーキホースガイド	CBG-DBH
FDMブランキングプレート	FDM-CVR
フロントディレイラー 固定具付きマウント ネジ	FDM-0E0
ダウンチューブポート ブラックプラグ	PL -350
ダウンチューブ Di2 ジャンクションAホルダー	MT-294A
ダウンチューブケーブル ガイドアセンブリw/ プラグ (電気)	CBG-DT-ASP

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ダウンチューブケーブルストップ プラグ付きアセンブリ (機械)	CBS-2DT112M2
ドロップアウト電線 ガイド	GRドロップアウトガイド
SP18 シートポスト w/ ヘッド0mm	SP-SP18-ゼロ
SP18 シートポスト w/ ヘッド25mm	SP-SP18-25MM
シートポストバッテリー マウント	MT-BINT-SP2
シートポストクランプカバー SPCC-314	
シートポストクランプ (カレドニア-5)	SPC-287A
インデックス付きフロントスルー 車軸	QRA-LVR-F
インデックス付きリア スルーアクスル	QRA-LVR-R
サーヴェロ フロントエアロ スルーアクスル	QRA-AERO-F
サーヴェロ リアエアロ スルーアクスル	QRA-AERO-R

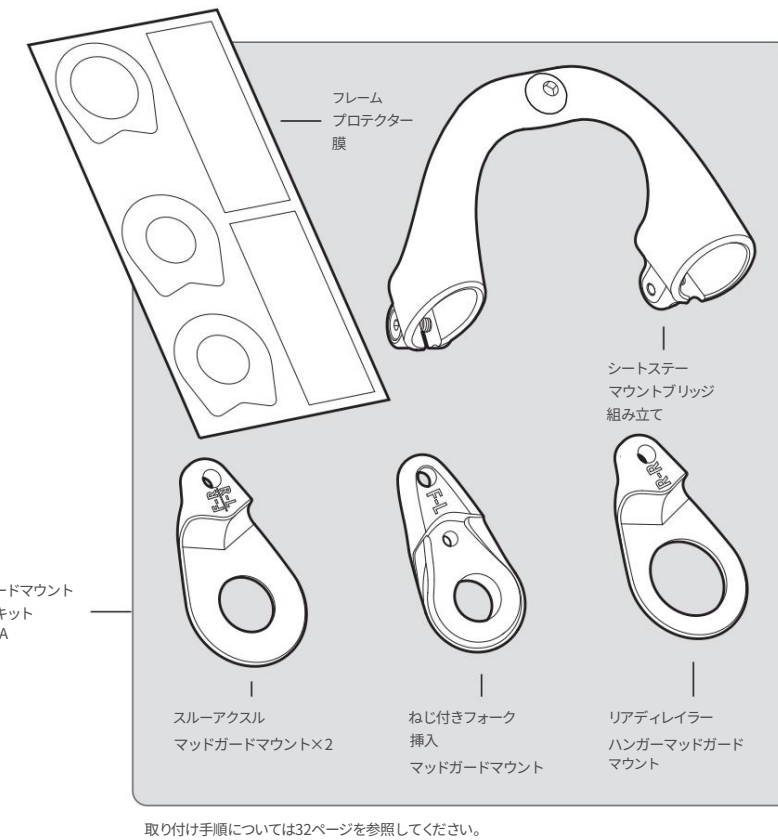
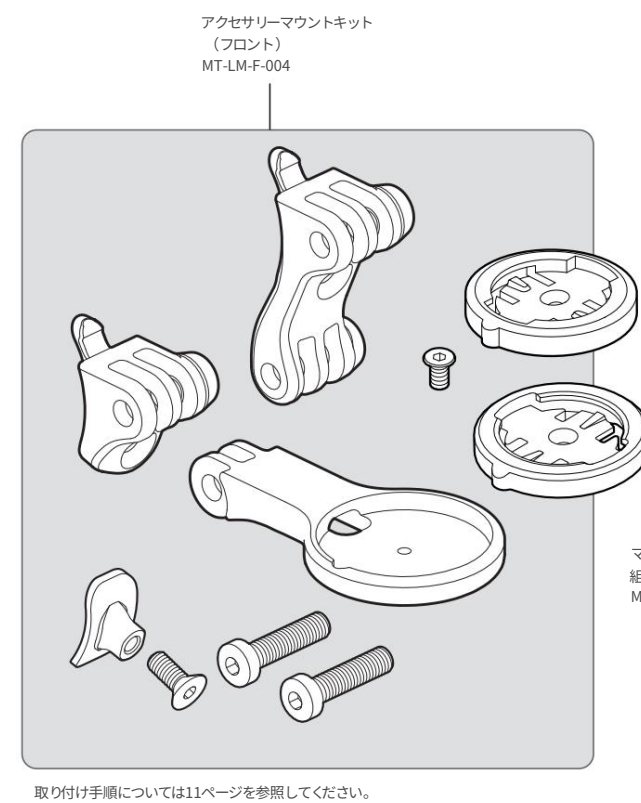
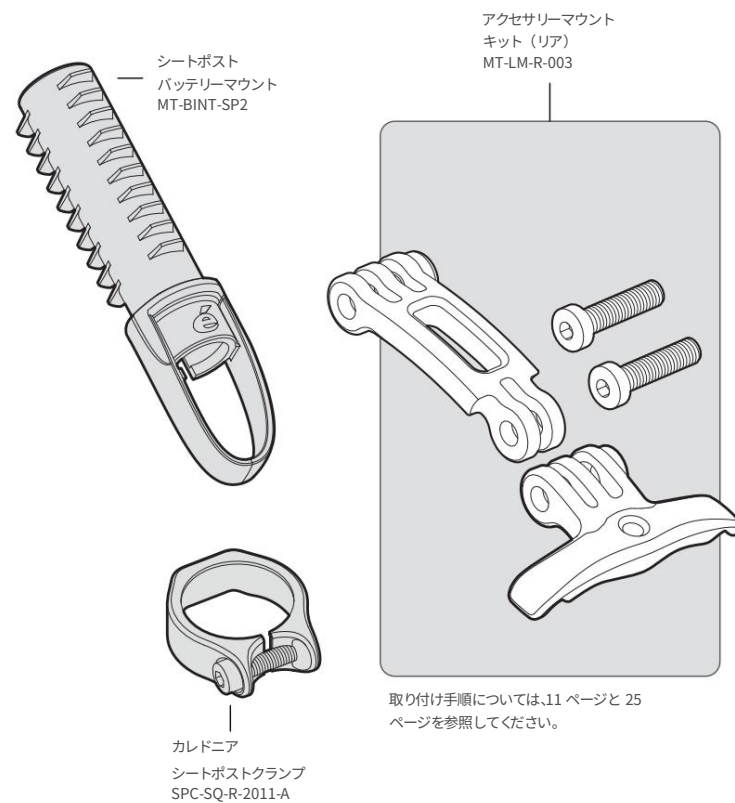
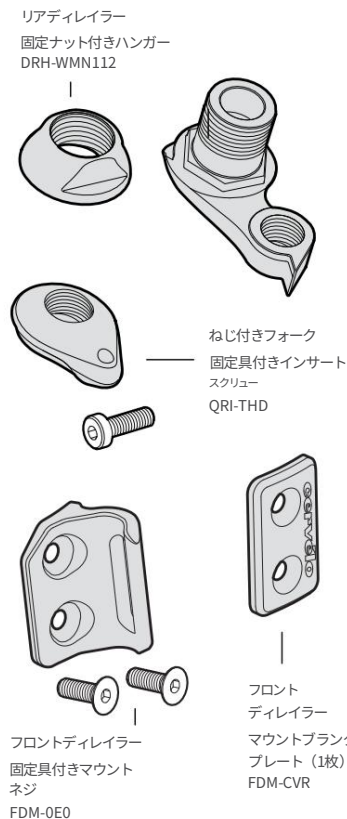
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST32 ステムスパーサーキット SK-023	
ST32用ゴムプラグ トップキャップ	PL -338
CL005 フォークインサート	FKI-359
アクセサリマウントキット (フロント)	MT-LM-F-004
アクセサリマウントキット (後方)	MT-LM-R-003
チェーンステアガード	プロ-CS-ASP
マッドガードマウント 組み立てキット	MTA-302A
ドロップアウトケーブルストップ CBS-DRPOUT	
ドロップアウトブランキングプラグ 無線	GR-DRPOUT-CLOSED
シートポストクランプ (カレドニア)	SPC-SQ-R-2011-A

小さな部品

Caledonia -5とCaledoniaフレームは、電子制御、機械式、油圧式の各制御に対応するよう設計されており、変速方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できるように設計されています。そのためには、以下に示す部品が必要になる場合があります。



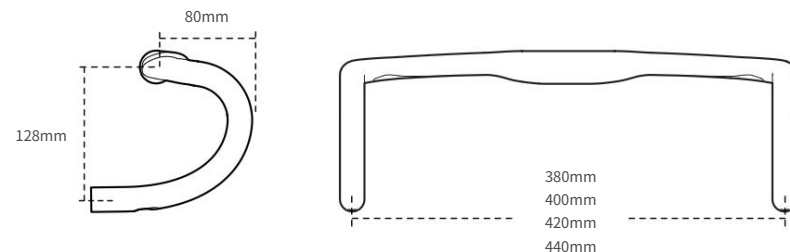
小さな部品



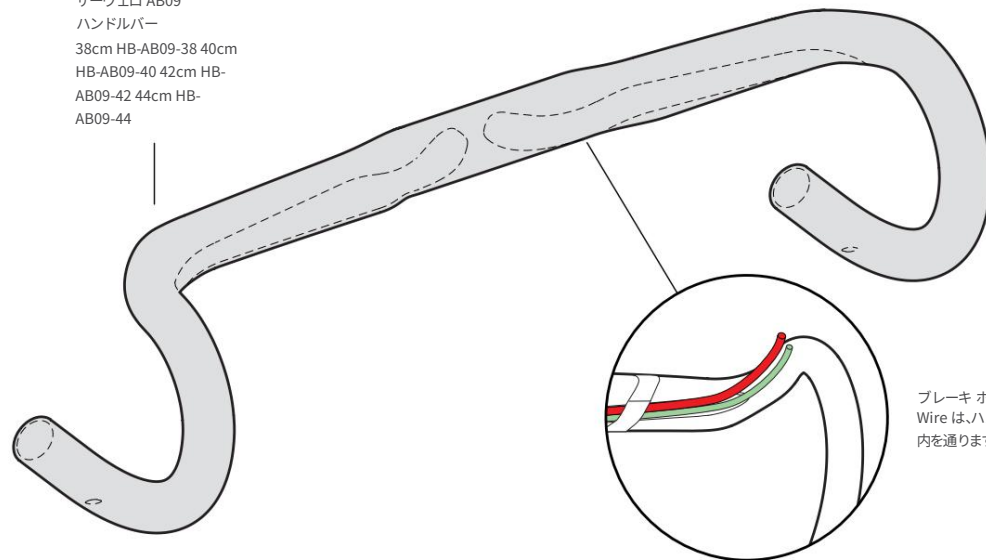
CALEDONIA-5 AB09 ハンドルバー

⚠ WARNING

ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



サーヴェロ AB09
ハンドルバー
38cm HB-AB09-38 40cm
HB-AB09-40 42cm HB-
AB09-42 44cm HB-
AB09-44



ブレーキ ホース、ケーブル ハウジング、Di2 E-Wire は、ハンドルバーの下側のチャンネル内を通ります。

CALEDONIA-5 ST31 & ST32 ステム

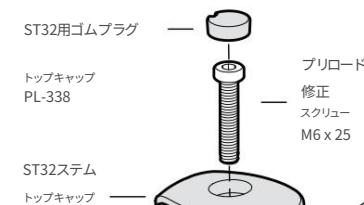
サーヴェロ ST32 ステム
(アルミニウム)

70mm ST-A032-70
80mm ST-A032-80 90mm
ST-A032-90 100mm ST-
A032-100 110mm ST-
A032-110 120mm ST-
A032-120 130mm ST-
A032-130

フォークを締める
ステアラー固定ネジを
5Nmにします。

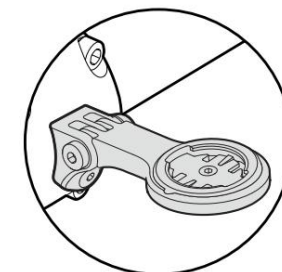
⚠ WARNING

ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



サーヴェロ ST31 ステム
(炭素)

80mm ST-C031-80 90mm
ST-C031-90 100mm ST-
C031-100 110mm ST-
C031-110 120mm ST-
C031-120 130mm ST-
C031-130



ST31およびST32互換
アクセサリマウントキット（フロント）。
組み立て手順については11ページを参照し
てください。



ST31 ステムは、
追加スタックのた
めに反転するこ
とはできません。

ステムフェイスプレ
ートの固定ネジを6Nmに締め
ます。

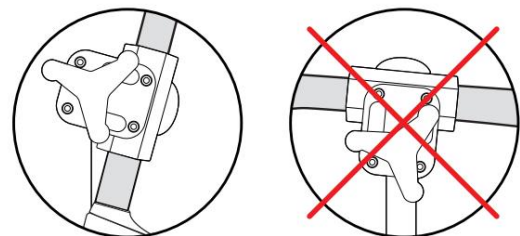


ST32ステムは反転して
さらに
スタック。

フレームとコンポーネントの準備

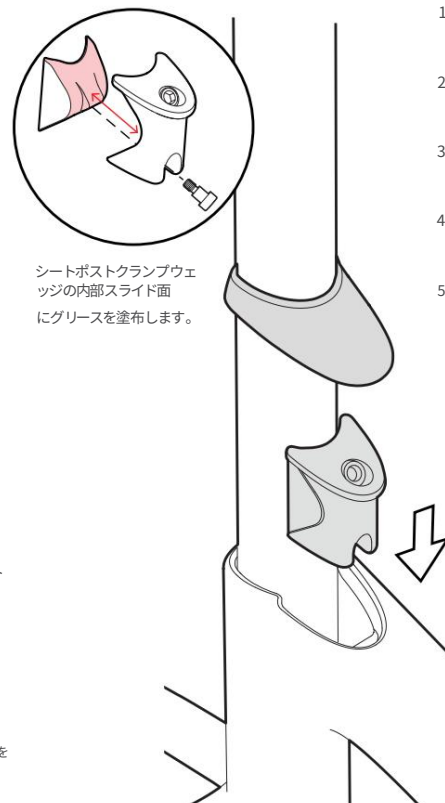
⚠ WARNING

固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



注: カレドニアの場合
シートポストの取り付け:

1. カーボンペストを塗布する
フレームと、フレームに挿入されるシート
ポスト。
2. シートポストを
フレーム。
3. 高さとしトルクを調整する
シートポストクランプ (SPC-SQ-R-2011-A)を
最大6Nmまで締めます。

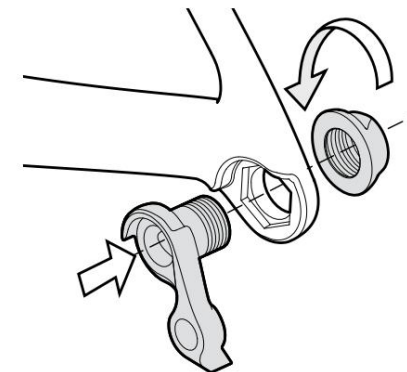


シートポストクランプウェ
ッジの内部スライド面
にグリースを塗布します。

1. シートポストクランプカバー (SPCC-314)をシートポスト
にスライドさせます。
2. フレームとフレームに挿入するシートポストにカーボン
ペストを塗布します。
3. シートポストとシートポストクランプ (SPC-287A)を
フレームに挿入します。
4. 高さを調整し、シートポストクランプを最大 8Nm に締め
付けます。
5. シート クランプ カバーを下にスライドさせて、シートポスト
クランプの上に取り付けます。

⚠ WARNING

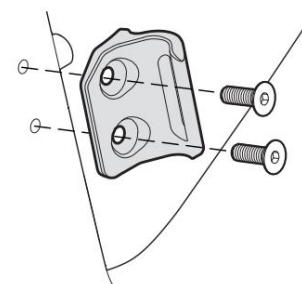
トリミングが必要な場合、最終的な長さは、
シートポストがフレーム内に70mm以
上残るように、またはシートポストに記載されて
いる最小挿入寸法のいずれか大きい方を考慮
してください。この要件を満たさない場合、保
証の対象外となるフレームの損傷、また
はライダーの重傷につながる可能性があります。



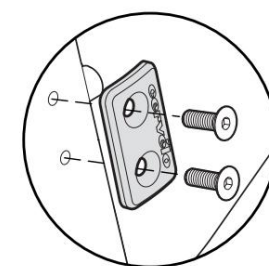
リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリースを塗り、リア
ディレイラーハンガー (DRH-WMN112)を指で締め付
けます。最終締め付けはリアホイールの取り付け後 (28ページ)
に行います。マッドガードを取り付ける場合は、32ページも
参照してください。

⚠ WARNING

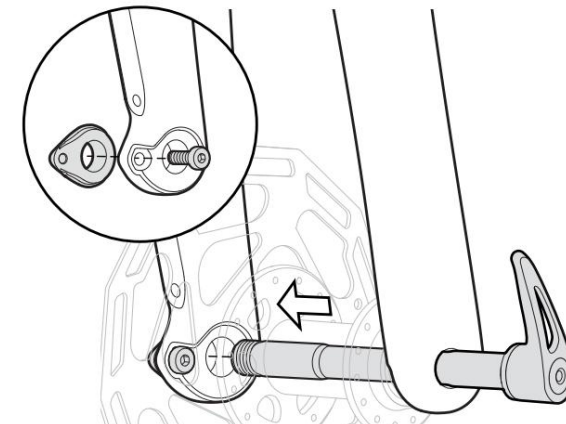
後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハ
ンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしない
と、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなりま
す。



フロントディレイラーマウント
(FDM-0E0)を2本の固定ネジでフレーム
に固定します。3Nmで締め付けます。

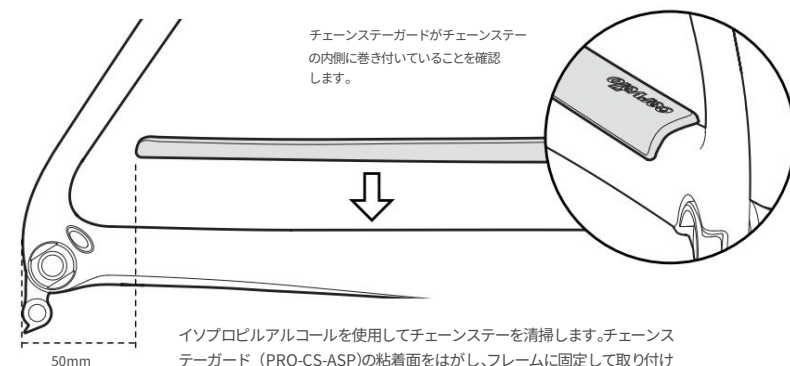


1x チェーンリング セットアッ
プの場合は、ブランピング
プレート (FDM-CVR) を
使用します。



1. 付属のM4固定ネジに軽くグリースを塗布します。スレッドフォークイン
サート (QRI-THD)と固定ネジを取り付け、軽く締め付けます。マッ
ドガードを取り付ける場合は、32ページも参照してください。
2. ホイールを取り付けられない状態で車軸を取り付け、
フランジがフォークのドロップアウト面に接触し、フォークブレード
を圧縮しない程度まで締めます。
3. 固定ネジを3Nmに締めます。
4. 車軸を取り外し、ホイールを取り付けます。車軸を再度取り付けます。
12~15Nmで締めます。
5. 車軸とホイールを取り外し、固定ネジを 3Nm に再度締め付けます。

フレームとコンポーネントの準備



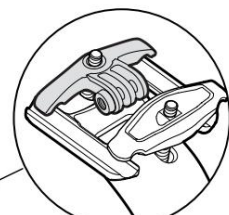
イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステーガード (PRO-CS-ASP)の粘着面をはがし、フレームに固定して取り付けます。ガード下端は、リアドロップアウト後端から約50mm前方に位置する必要があります。

アクセサリマウント
キット (リア)アッパー
クランプ

アクセサリマウント (リア)を取り付けるには、シートポストのリア上部クランプをキットバージョンのものと交換します。

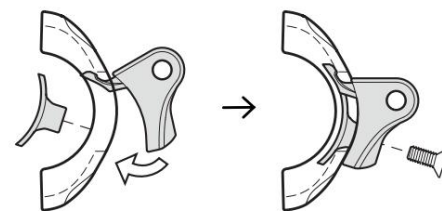
最大8Nmまで締め付けます。

25ページ。



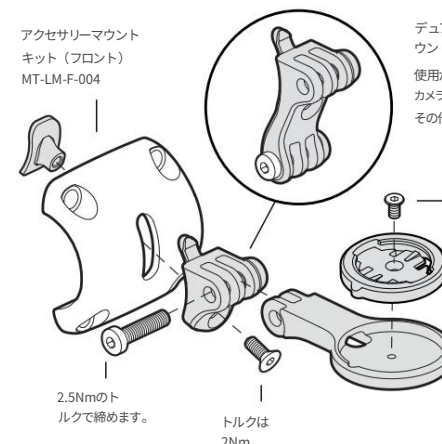
アクセサリなしで使用する場合は、上部のクランプを反転してクリップを隠すことができます。

アクセサリ マウント (フロント) を取り付けるには、ST31または ST32 ステム フェースプレートに角度を付けてマウントし、2Nm にトルクをかけます。



アクセサリマウント
キット (フロント)
MT-LM-F-004

デュアルフェイスプレートマウントにより、コンピューターの使用が可能。
カメラ
その他付属品。



アクセサリ マウント (フロント) には、Garmin および Wahoo コンピューター用のインサートが含まれています。

カレドニアフォークの準備と取り付け

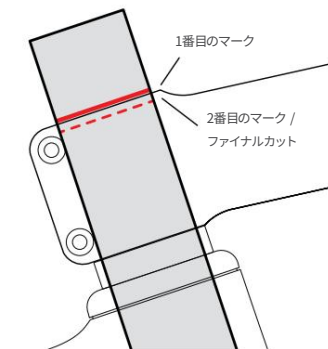
1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。
2. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。
3. アセンブリが完全に固定されていることを確認するために必要な最小限の圧力を加えます。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。
4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。
5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎり切断ガイドのみを使用してください。
6. フォークプリロード圧縮プラグを挿入し、8Nmにトルク調整します。

WARNING

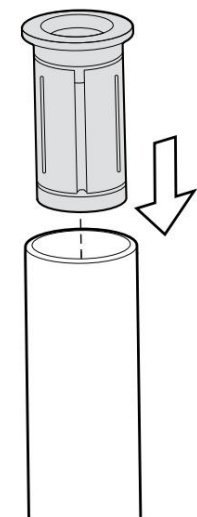
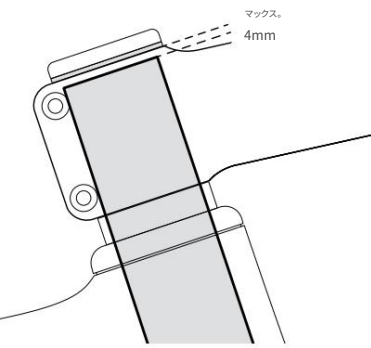
炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

WARNING

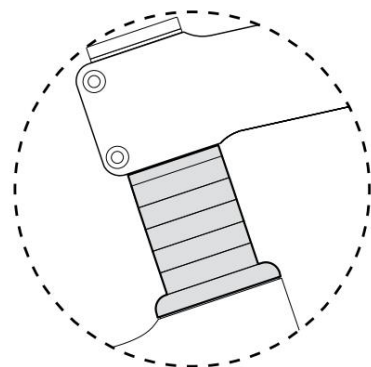
ステアラー チューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。



1 1/8インチのプリロードコンプレッションプラグインフォークステアラーを取り付けます。トルクは8Nmです。

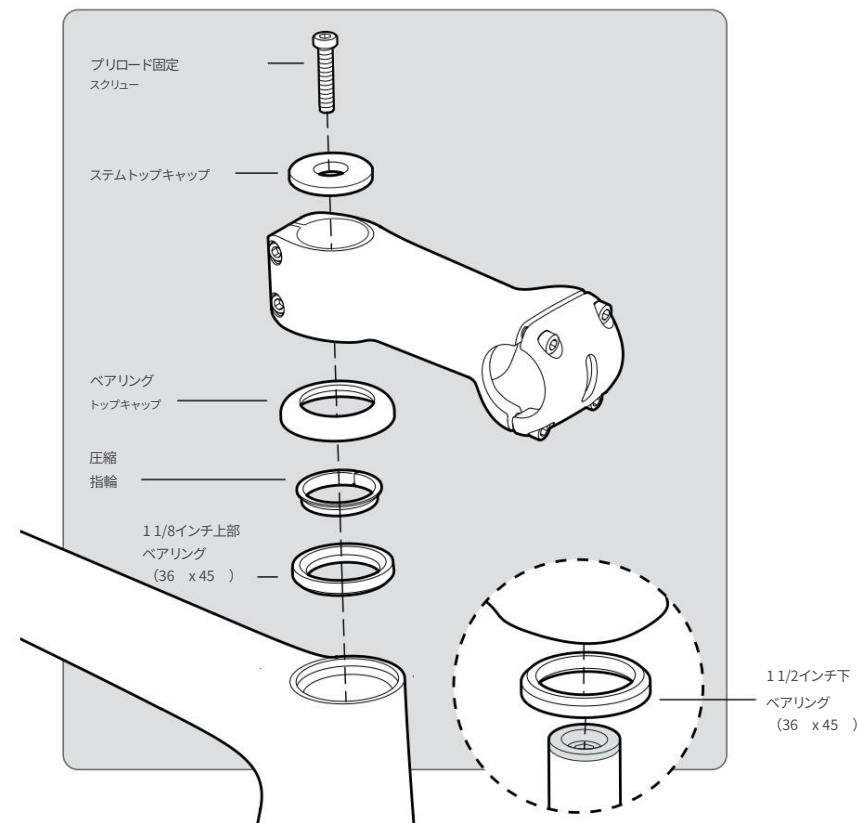


カレドニアフォークの準備と取り付け



⚠ WARNING

ベアリングトップキャップを含めたスペーサーの合計最大高が 62 mm を超えないようにしてください。



CALEDONIA-5 フォークの準備と取り付け

1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。

2. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。

3. 必要最低限の圧力をかける
アセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。

5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎり切断ガイドのみを使用してください。

⚠ WARNING

炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

6. フォーク インサートに接着剤がフィットするように、ステアラーチューブの切断端の内側を慎重に研磨して斜面を作ります。

7. フォーク インサートを仮組みして、インサートの端だけに触れるように注意しながら、ステアラーチューブの端にぴったり合うことを確認します。

8. ステアチューブが短すぎてフォークインサートの上部フランジが入らない場合

フォークの上部に接触するため、取り外す前に露出部分の長さを測ってください。アルミ切断に適した新しい鋸刃を使用して、フォークインサートの下部から同じ長さを切り取り、鋭利なエッジをヤスリで削り落とします。

接着する前に、フォークインサートを再度テストフィットして、フィットの精度を確認します。

⚠ CAUTION

インサートを切断する必要がある場合、32mm以上削らないでください。フォークステアラーに完全に収まらない場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

9. イソプロピルアルコールを使用して、ステアラーチューブの内側とフォークインサートの外側を清掃します。

10. 2液エポキシを完全に混ぜて塗布します。
木製のミキシングスティックでフォークインサートの外側の表面をこすります。

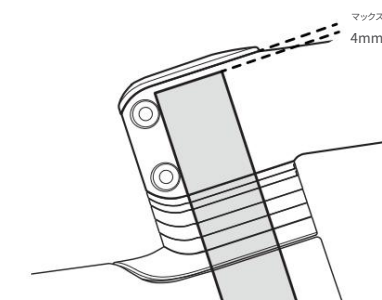
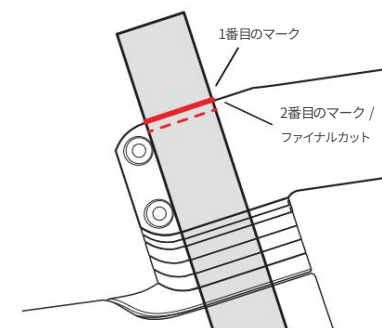
11. フォークインサートをステアラーにゆっくりと差し込みます
広がった端がステアラーの上部と面一になるまで押し込みます。

12. イソプロピルアルコールワイプを使用して、ステアラーチューブの外側の表面から余分な接着剤を拭き取ります。

13. フォークを脇に置いて
硬化期間中はそのままにしておきます。

⚠ WARNING

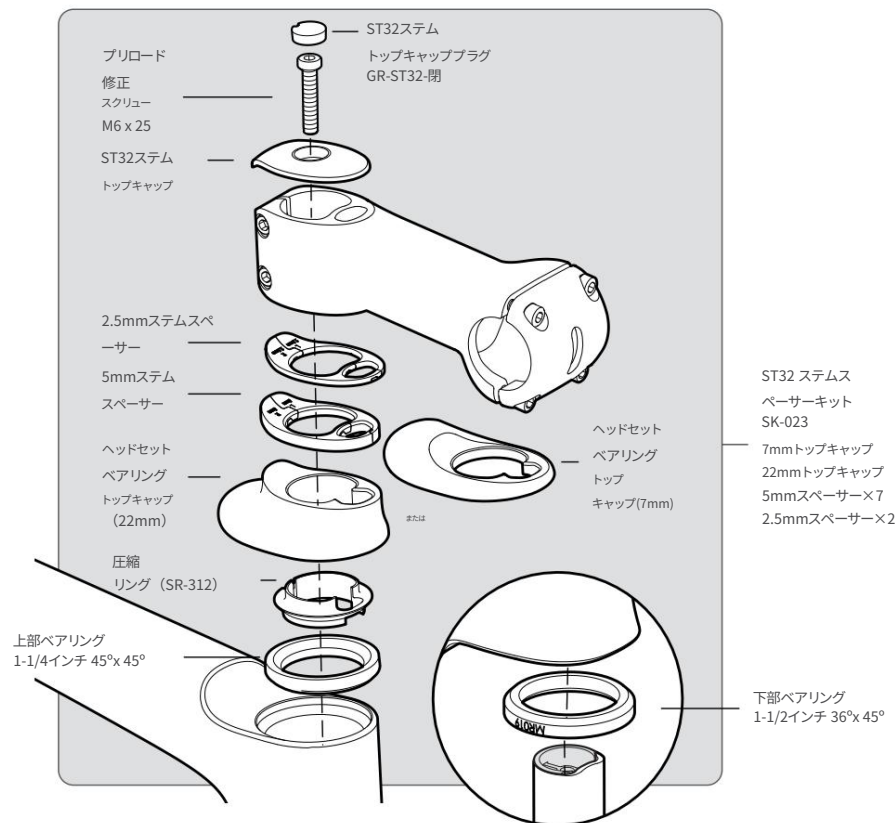
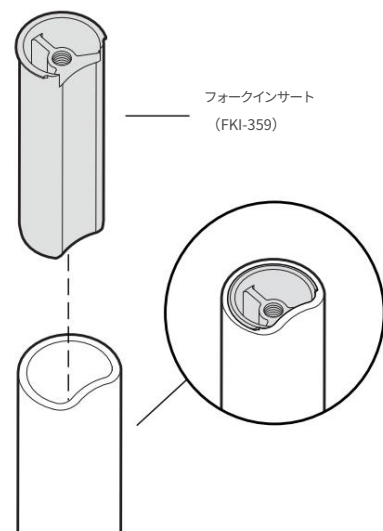
ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。



CALEDONIA-5 フォークの準備と取り付け

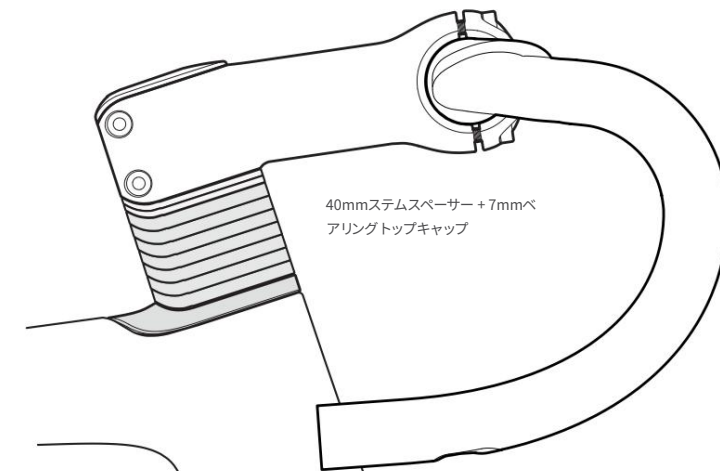
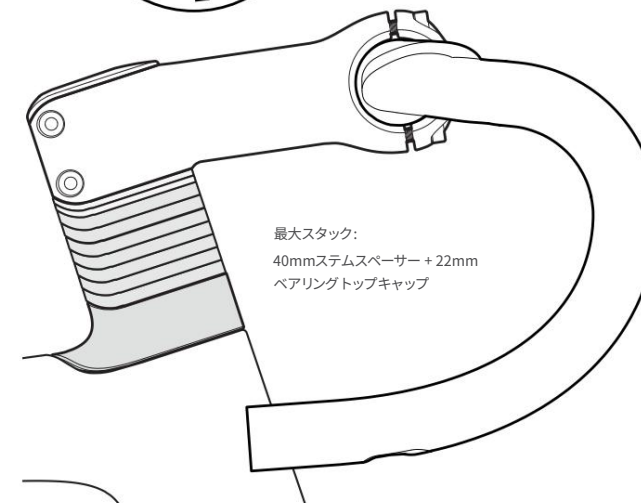
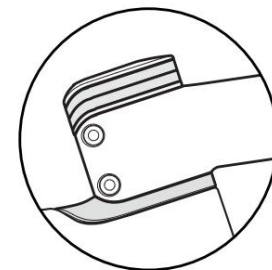
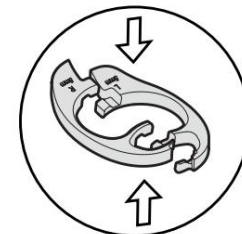
⚠ WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。



CALEDONIA-5 スタック調整

ST31 または ST32 ステムとフレーム間のスタックの最大量は 62mm (スペーサー 40mm + トップ キャップ 22mm) です。

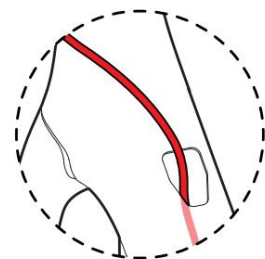


ブレーキホースの配線

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキの詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

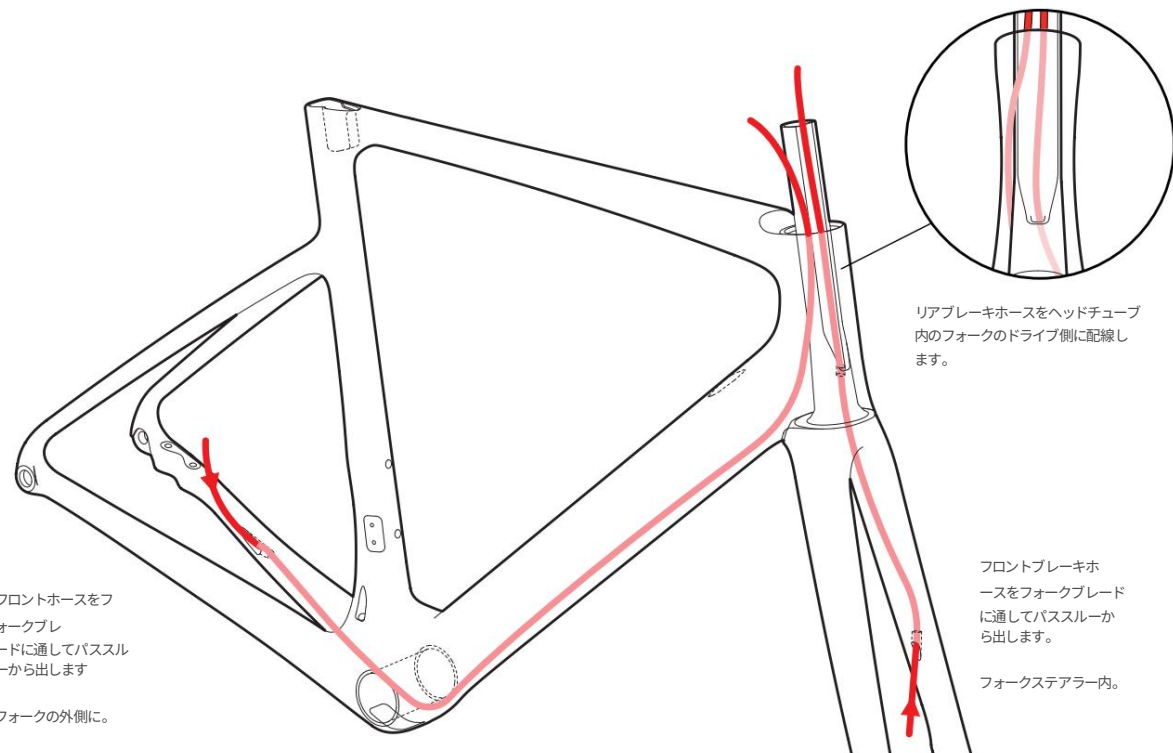
● ブレーキ

注意: Caledonia を組み立てる際は、リアホースをダウン チューブの内部ケーブルポートに通してください。



フロントホースをフォークプレートに通してパススルーから出します

フォークの外側に。

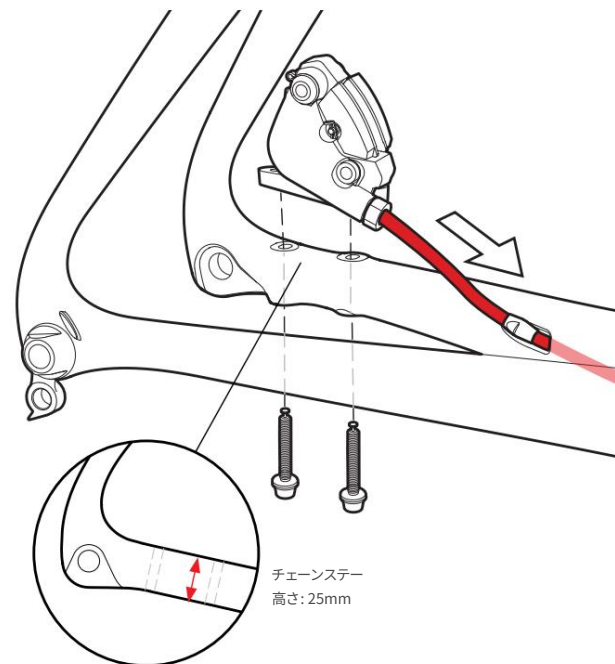


リアブレーキホースをヘッドチューブ内のフォークのドライブ側に配線します。

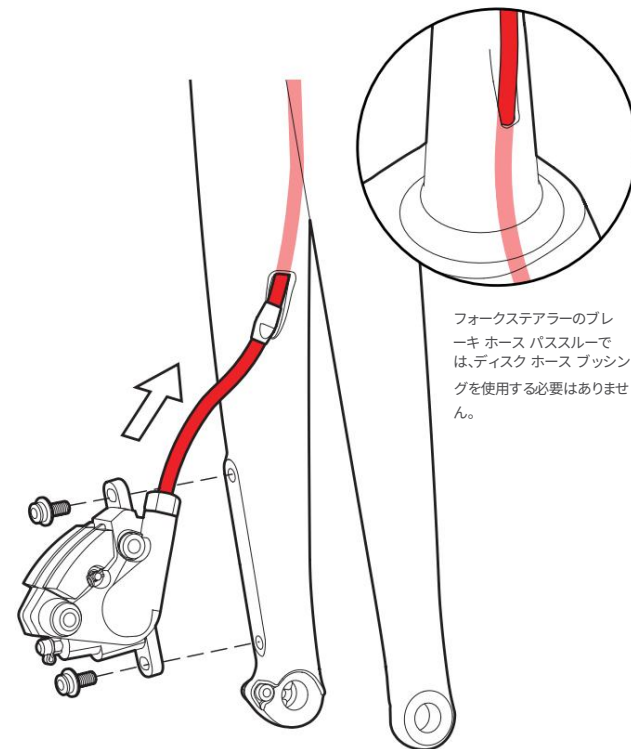
フロントブレーキホースをフォークプレートに通してパススルーから出します。

フォークステアラー内。

ディスクホースプッシング (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。キャリパーはメーカーの指示に従って取り付け、調整してください。



チェーンステー
高さ: 25mm



フォークステアラーのブレーキホースパススルーでは、ディスクホースプッシングを使用する必要はありません。

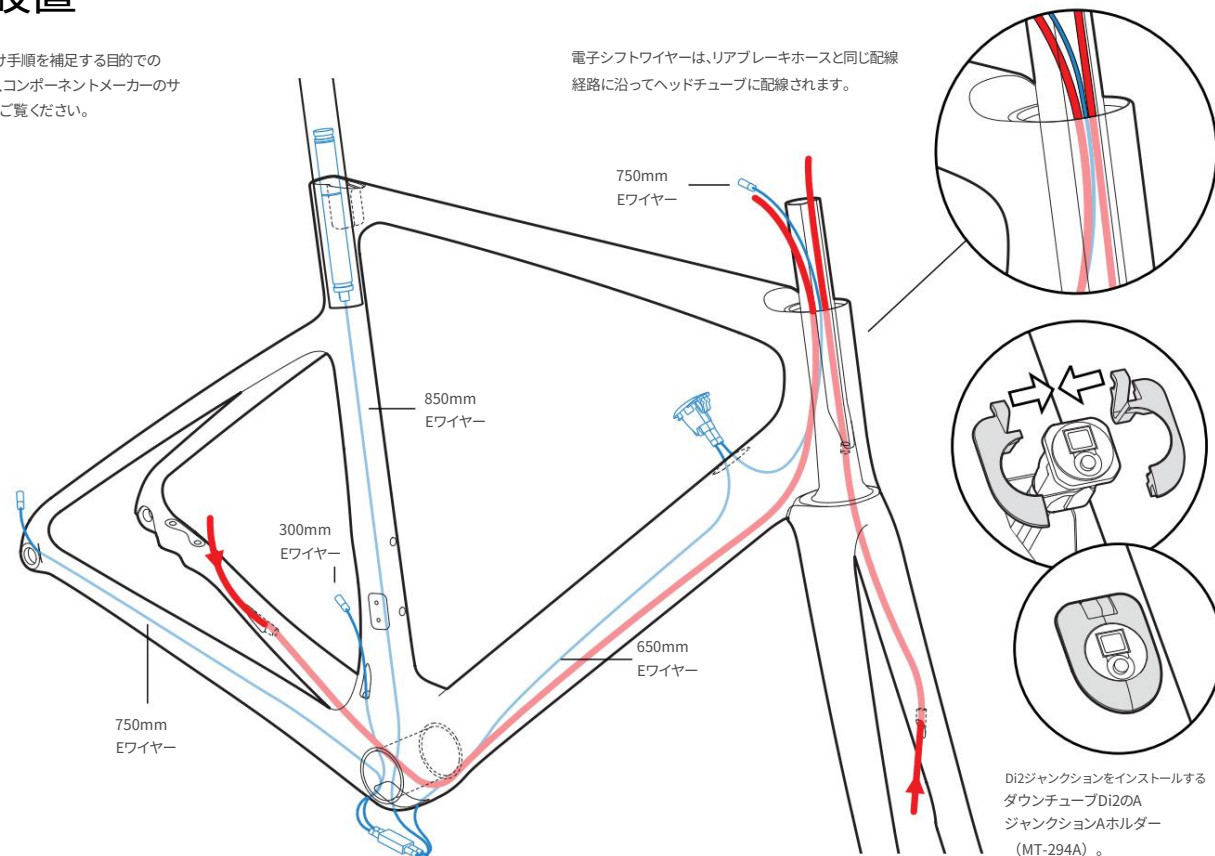
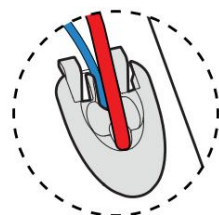
電線配線と設置

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

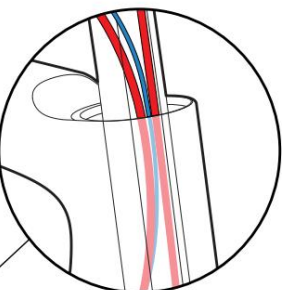
- ブレーキ
- Eワイヤー

注意：組み立てる際
電動シフトを備えたカレド
ニアでは、制御ワイヤーがフレ
ームを通して入ります

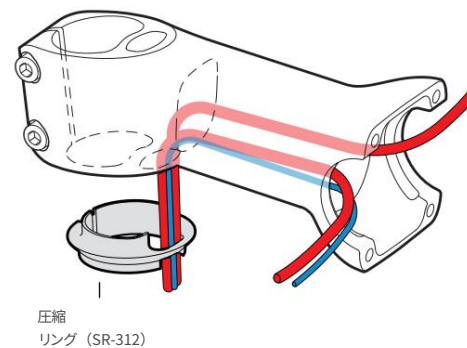
ダウンチューブ内部
ケーブルポートを使用して
カレドニアダウンチューブ
ケーブルガイドアセンブリ
(CBG-DT-ASP)



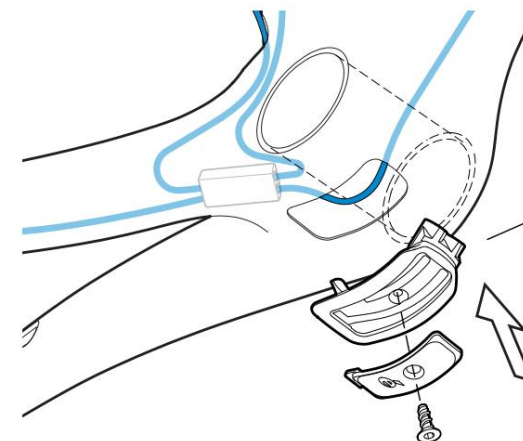
電子シフトワイヤーは、リアブレーキホースと同じ配線経路に沿ってヘッドチューブに配線されます。



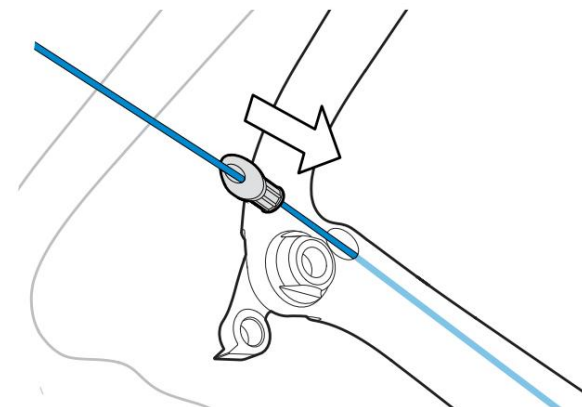
Di2ジャンクションをインストールする
ダウンチューブDi2のA
ジャンクションAホルダー
(MT-294A)。



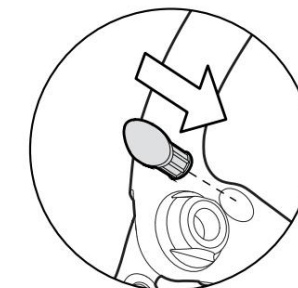
E ワイヤーが圧縮リングの開口部
を通過するときに、2つのブ
レーキ ホースの間の前方に配置
されていることを確認します。



すべてのワイヤーを内部に入れた
まま、BB ケーブルガイド/カバー
(BBG-0E0) を使用してボトム
ブラケット ケーブル ポートを覆い
ます。



リアディレイラーワイヤーガイド (GR-DRPOUT-
GUIDE)を取り付けます。



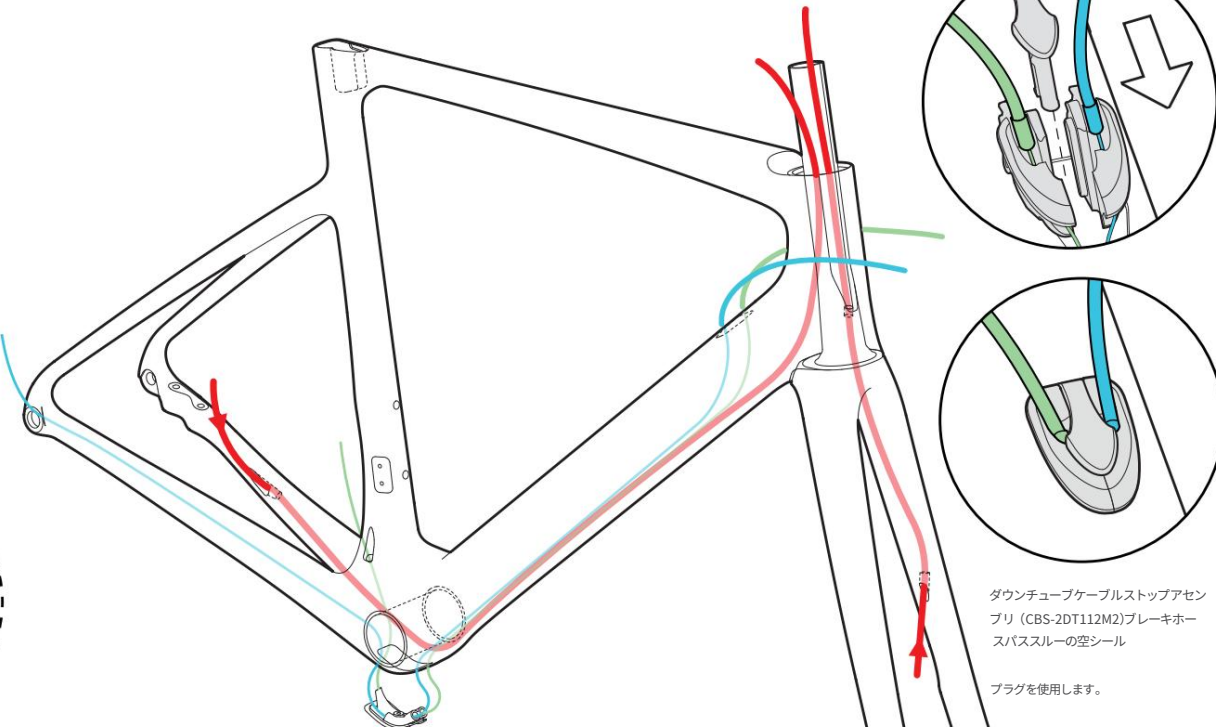
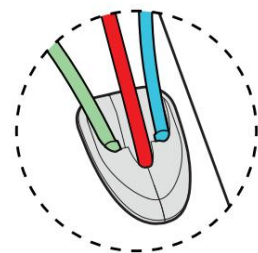
ワイヤレス シフト システムの場合は、リア
ディレイラー ブランキング プラグ
(GR-DRPOUT-CLOSED) を取
り付けます。

機械ケーブル配線と設置

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

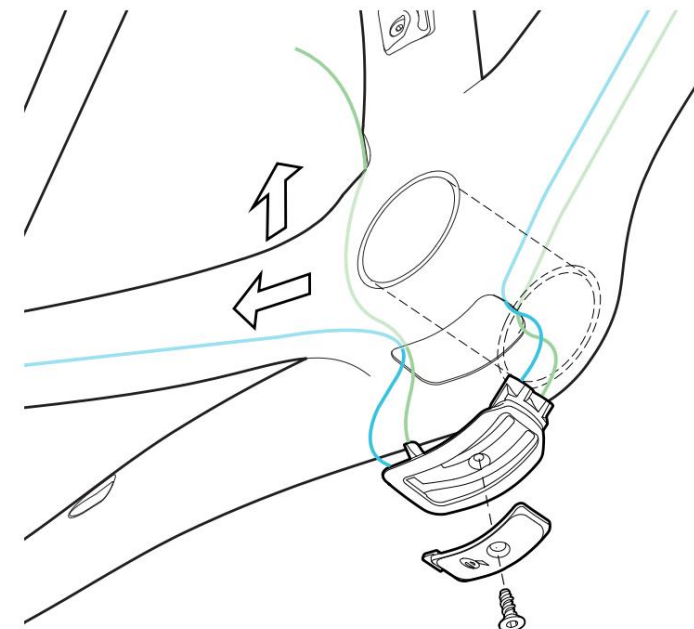
- ブレーキ
- リアシフター
- フロントシフター

注意: Caledonia を機械式シフトで組み立てる場合は、シフターケーブルとリア ブレーキ ホースをダウン チューブ ケーブル ストップ アセンブリ (CBS-2DT112M2) に通します。

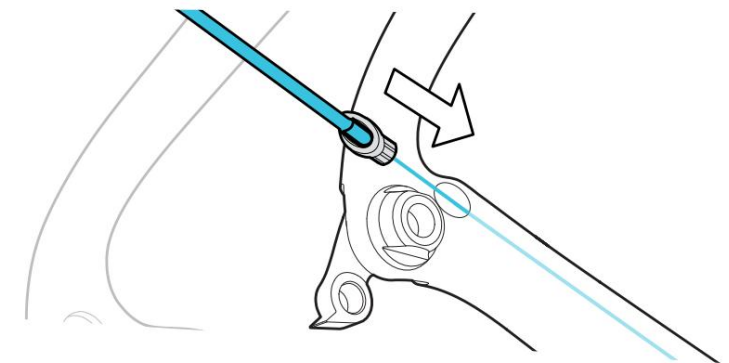


ダウンチューブケーブルストップアセンブリ (CBS-2DT112M2)ブレーキホースパススルーの空シール

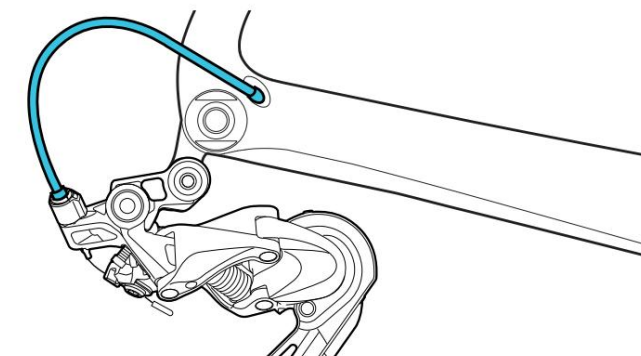
プラグを使用します。



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向に通します。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステーに沿って通します。完了したら、BBケーブルガイド/カバー (BBG-0E0)を所定の位置に固定します。



リアディレイラープレスインケーブルストップ (CBS-DRPOUT)を取り付けます。



製造元の指示に従って、リア ディレイラーをリア ディレイラー ハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

ハンドルバールーティング - 電動

1. Caledonia-5 では、ハンドルバーにシフターを取り付け、750mm E-Wire A を使用して左と右を接続します。
2. 750mm E-Wire B を右シフターからステムに通してダウンチューブのジャンクション A に接続します。
3. ブレーキハウジングとEワイヤーを適切な位置に配置します。ハンドルバーのチャネル。
4. 接触部にカーボンアセンプリコンパウンドを塗布する
ハンドルバーとステムのフェイスプレートの間の領域。
5. ハンドルバーをステムに取り付け、ブレーキとメーカーの指示に従ってコントロールを切り替えます。

- ブレーキ
- Eワイヤー

注意:電動シフト付きの Caledonia では、次の E ワイヤ長さのバーマウント ジャンクション A を使用します。

シフトレバーからシフターまでの長さ: 750mm

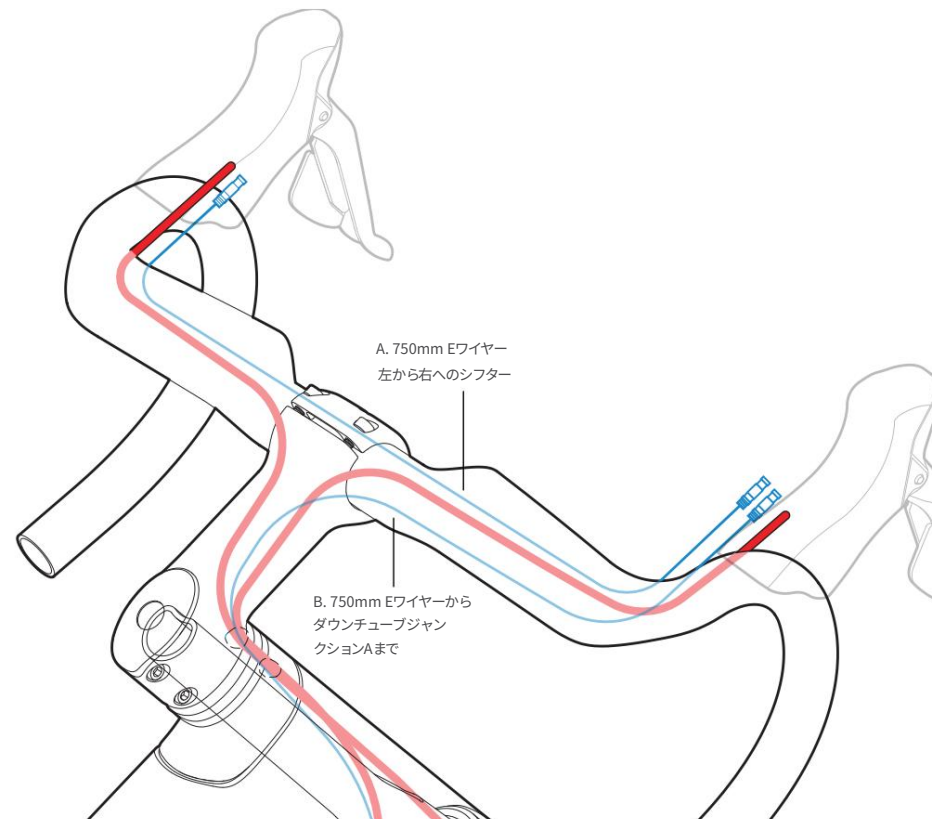
シフターからジャンクションAまで: 300mm

ジャンクションAからジャンクションBまで下り

チューブ内部ケーブルポート:

1200mm 48-56cmフレーム

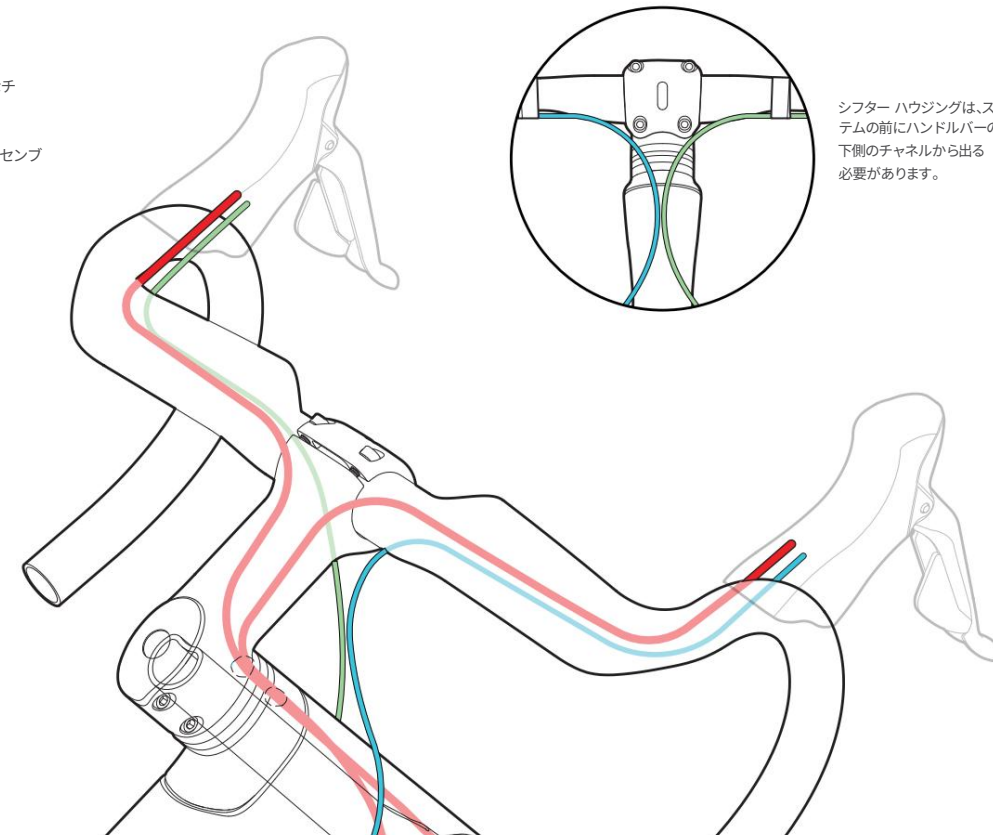
1400mm 58-61cmフレーム



ハンドルバーケーブルルーティング - メカニカル

1. Caledonia-5の場合は、ハンドルバーにシフターを取り付けます。
2. ブレーキハウジングとシフターハウジングをハンドルバーの適切なチャネルに配置します。
3. ハンドルバーとステムのフェイスプレートの接触部分にカーボンアセンプリコンパウンドを塗布します。
4. ハンドルバーをステムに取り付け、製造元の指示に従ってブレーキとシフトコントロールを取り付けます。

- ブレーキ
- リアシフター
- フロントシフター

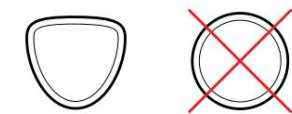
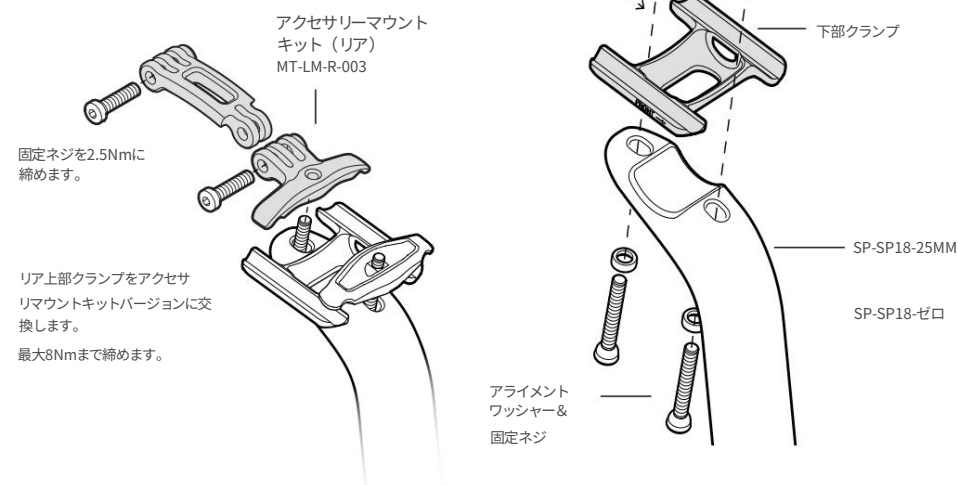


シートポストの組み立てと取り付け

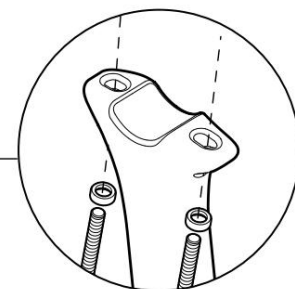
1. シートポストの上面にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布し、調整スロットの周囲を覆うようにします。

2. サドルレールを上部クランプと下部クランプの間に配置して、シートポストに取り付けます。

3. アライメントワッシャーを取り付けた状態で、軽くグリースを塗布した固定ネジを締め、シートポストに取り付けます。両側を交互に1/2回転ずつ締めます。サドルの位置を調整したら、固定ネジを最大8 Nmで締めます。



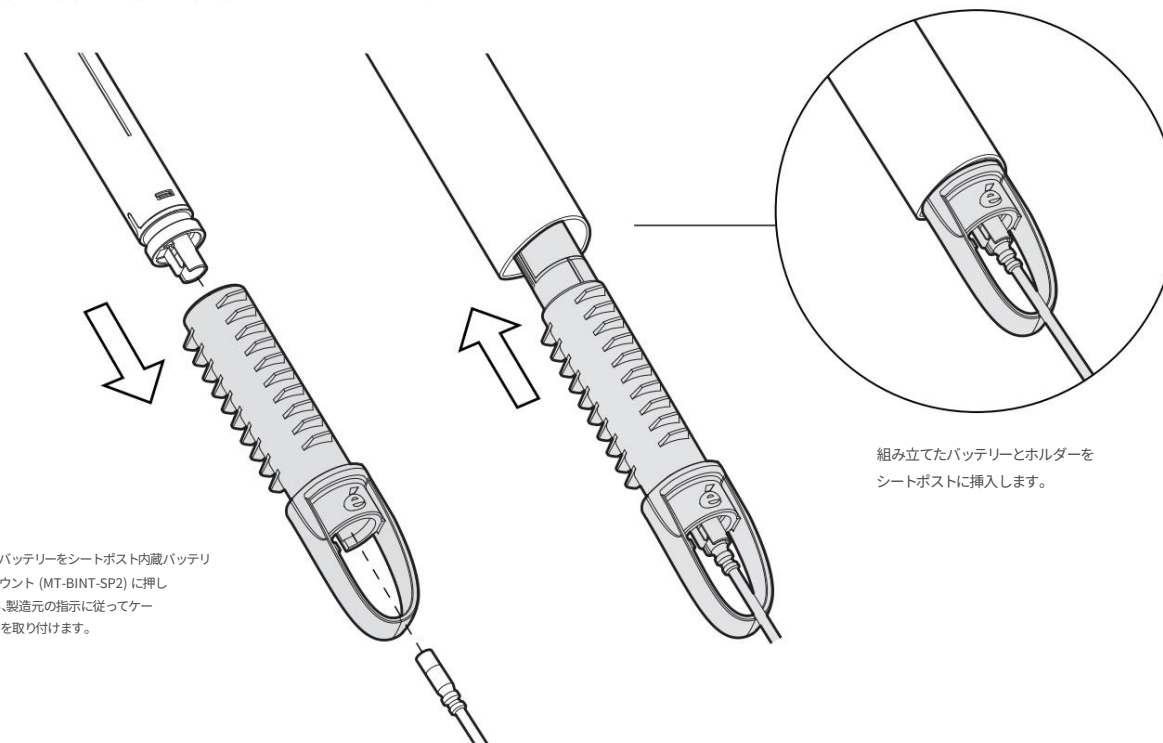
Caledonia-5 は独自の形状のシートポストを使用しています。Cervélo が提供するモデル以外のシートポストを使用しないでください。



DI2バッテリーの取り付け

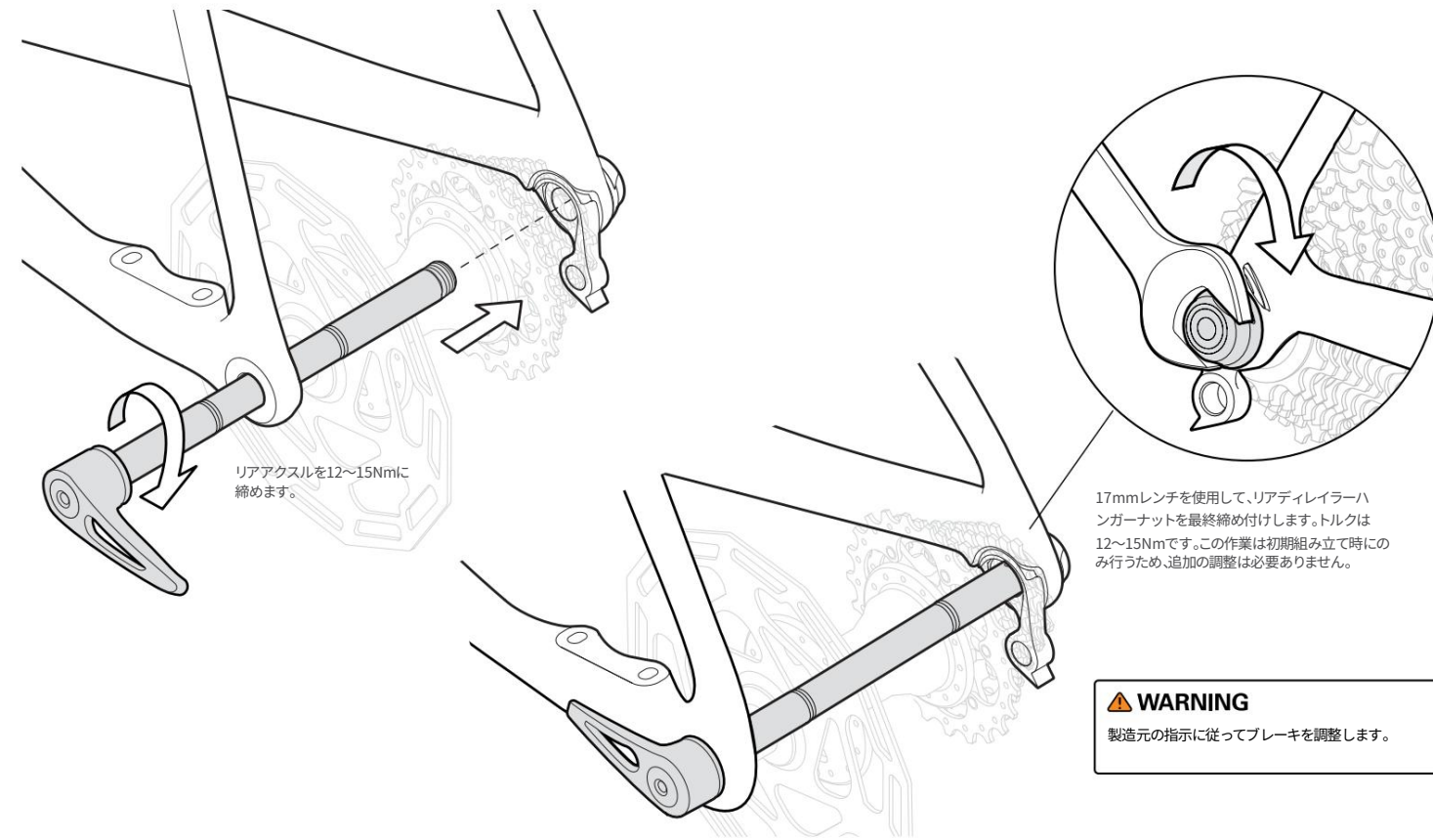
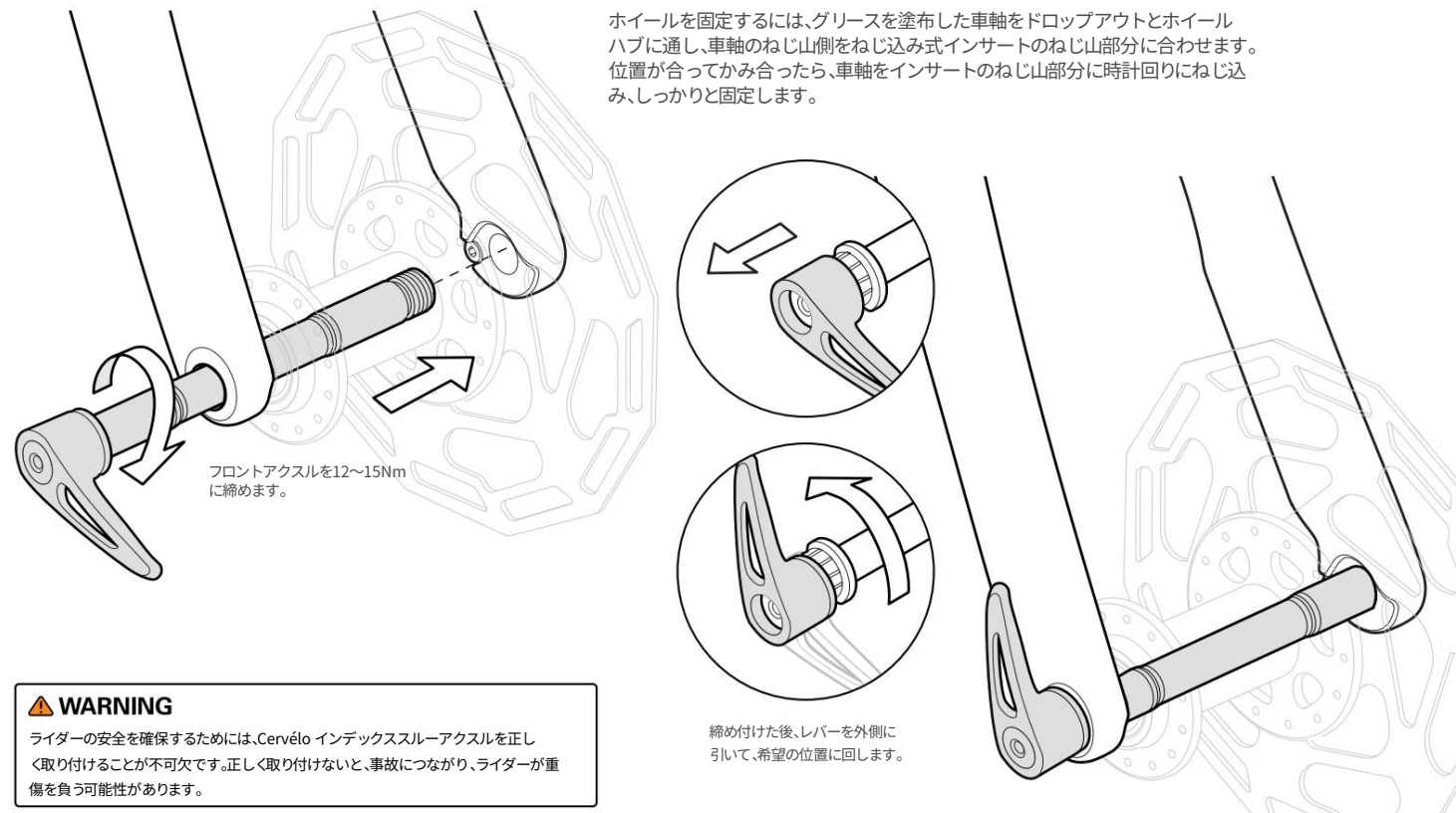
Shimano Di2 システム用のバッテリーは、シートポスト内蔵バッテリーマウント (MT-BINT-SP2) を使用してシートチューブ内に取り付けられます。

これは密閉された場所なので、最終的な設置の前にシステムをテストすることが重要です。

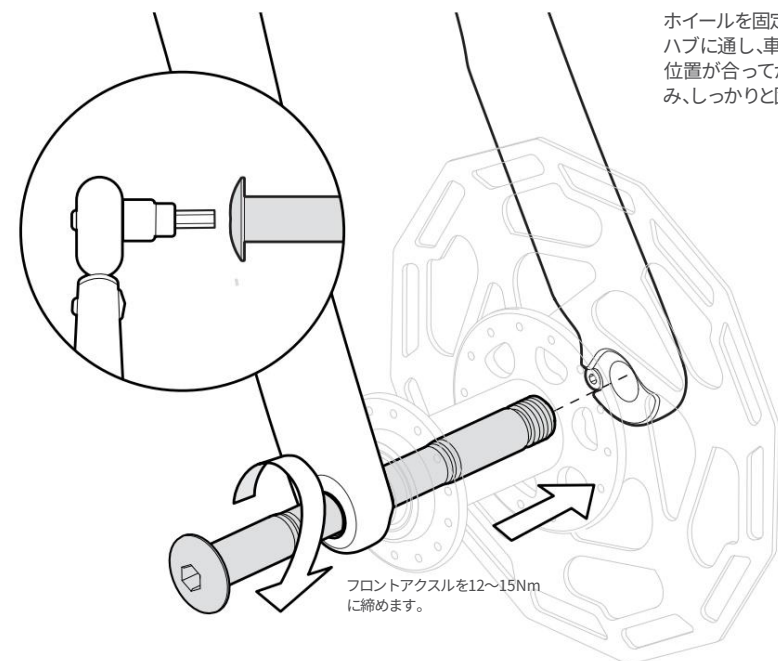


インデックススルーアクスルの取り付け

ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合っただけで、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。

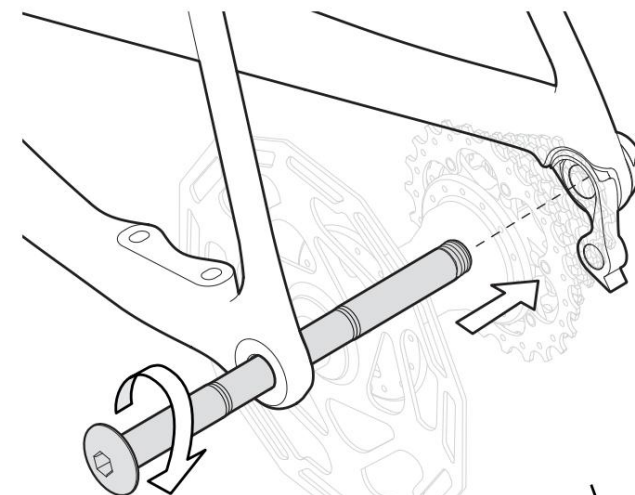
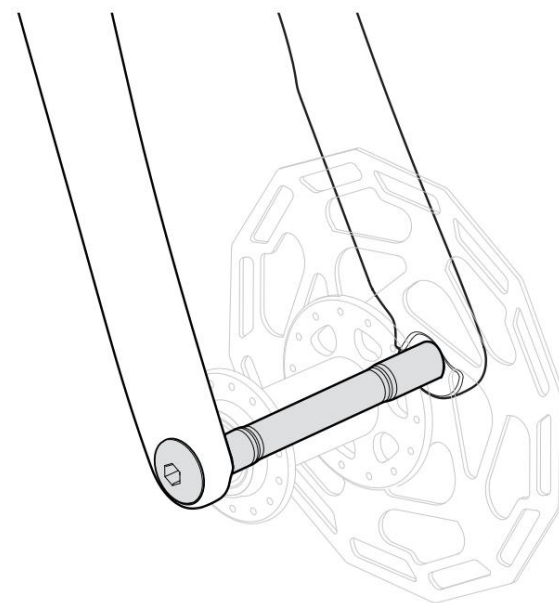


エアロスルーアクスルの取り付け

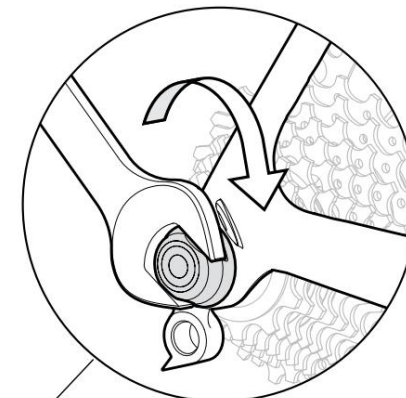


フロントアクスルを12~15Nmに締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合っかみ合ったら、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。



リアアクスルを12~15Nmに締めます。



17mmレンチを使用して、リアディレイラーハンガーナットを最終締め付けします。トルクは12~15Nmです。この作業は初期組み立て時のみ行うため、追加の調整は必要ありません。

⚠ WARNING

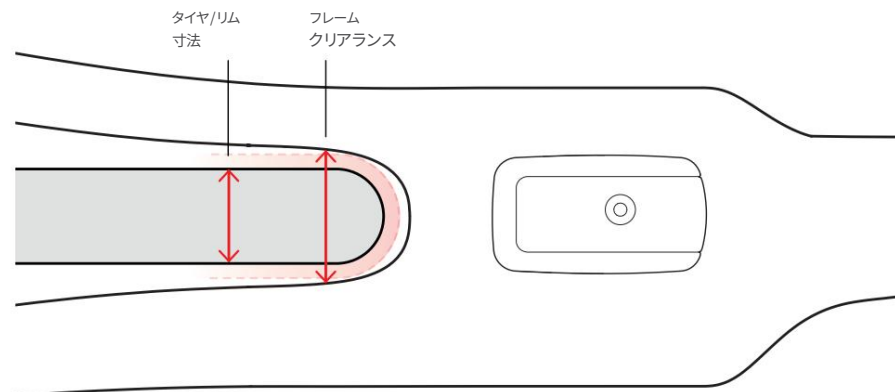
ライダーの安全を確保するためには、Cervélo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負う可能性のある事故につながる可能性があります。

⚠ WARNING

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

タイヤ/リムクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. その2つの数字のうち小さい方を使って、残りのスペースを決定するには、8mm (片側4mm) を差し引きます。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に空気を入れた状態で、リムまたはタイヤの最大幅を測定して、フィットすることを確認します。

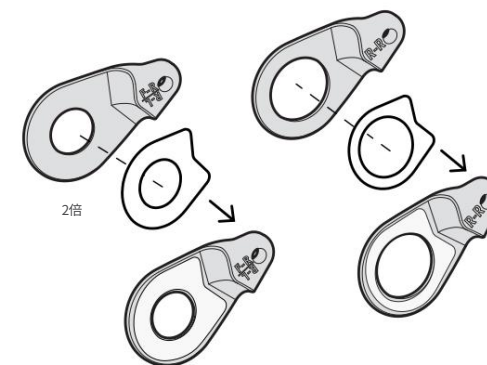
⚠ WARNING

タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中に制御を失い、重大な傷害を負う可能性があります。

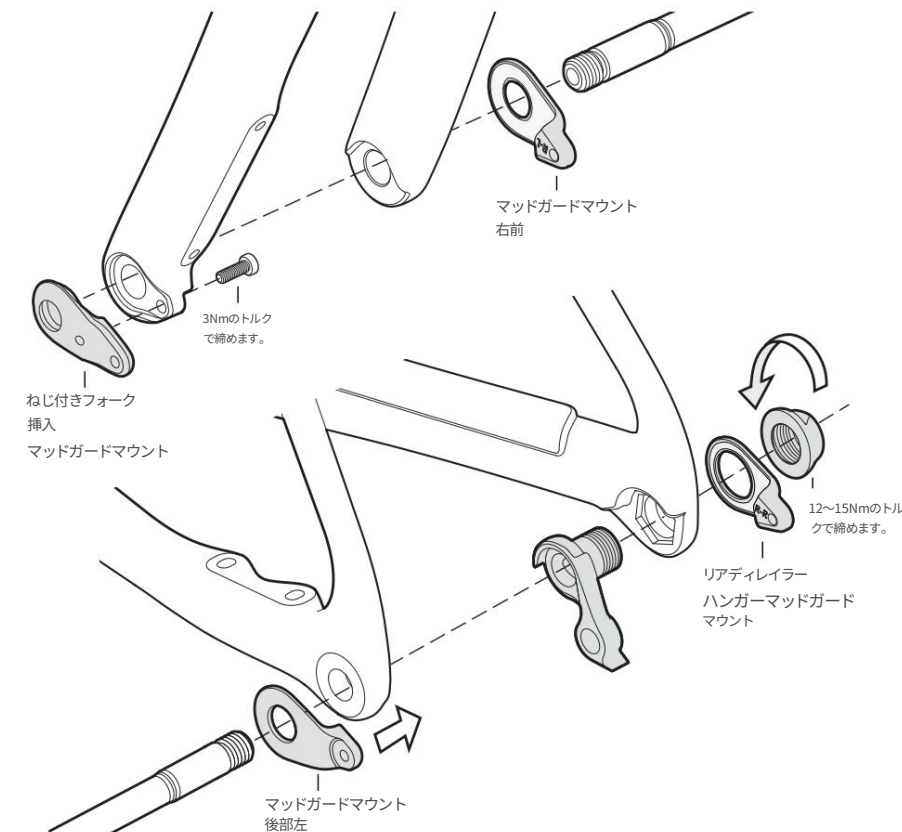
これらのガイドラインに従わなかった場合、Cervélo 限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

マッドガードの取り付け

1. 既存のねじ付きフォークインサートを取り外します。
2. 10 ページに記載されている標準組み立て手順に従って、マッドガードマウント付きのねじ付きフォーク インサートを取り付けます。
3. マッドガードマウントの内側の面を清掃する
イソプロピルアルコールで拭き取り、穴のサイズに合わせて適切なフレーム保護フィルムを取り付けます。



4. リアディレイラーハンガー固定ナットを外します。
リアディレイラーハンガーマッドガードマウントを取り付けます。
5. 10 ページと 28 ページに記載されている手順に従って固定ナットを再度取り付けます。



マッドガードの取り付け

6. シートステーマウントブリッジを取り付け、アセンブリがスライドできる程度にボルトを緩めます。

7. メーカーの指示に従って、マッドガードをシートステー マウント ブリッジとフォークに緩く取り付けます。

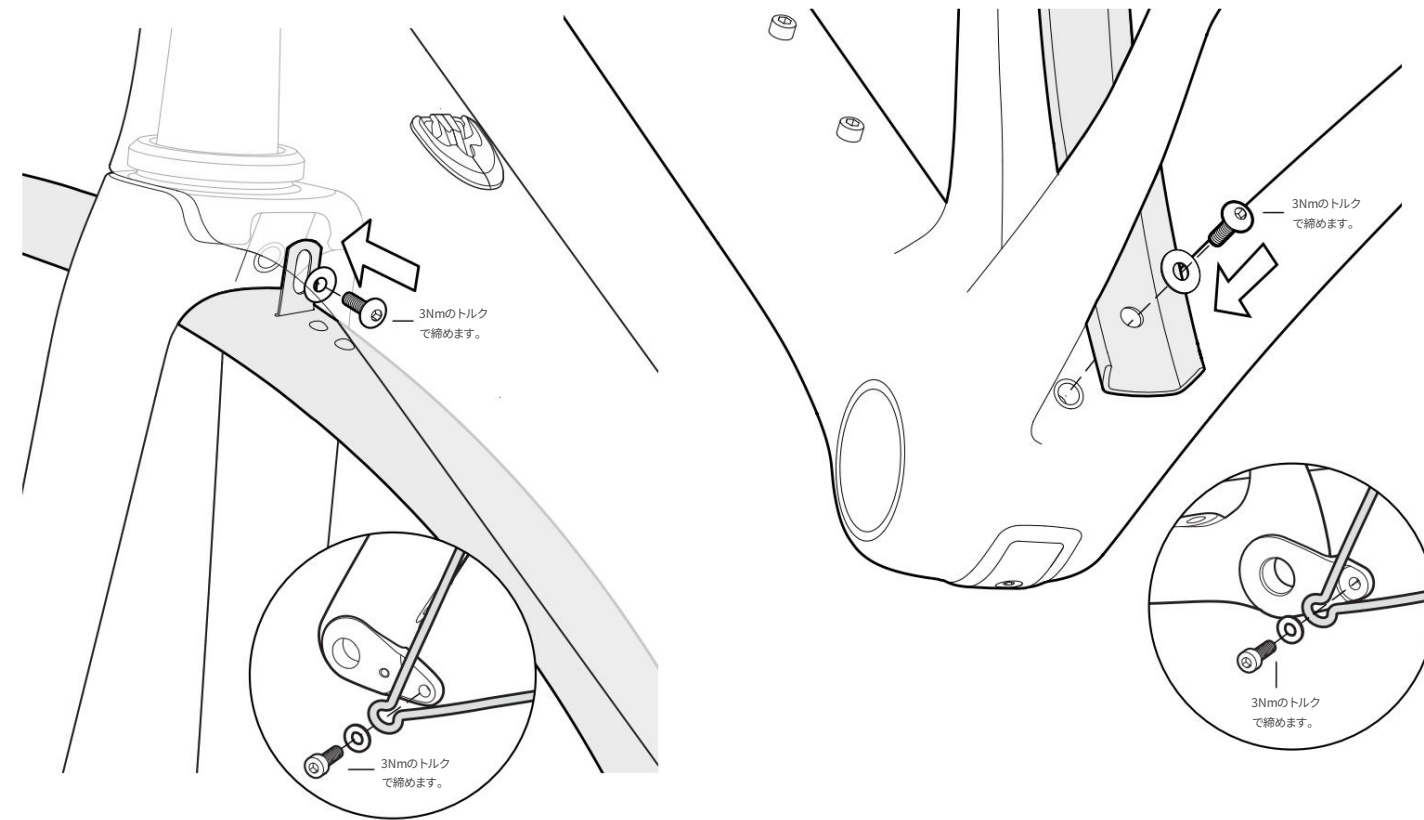
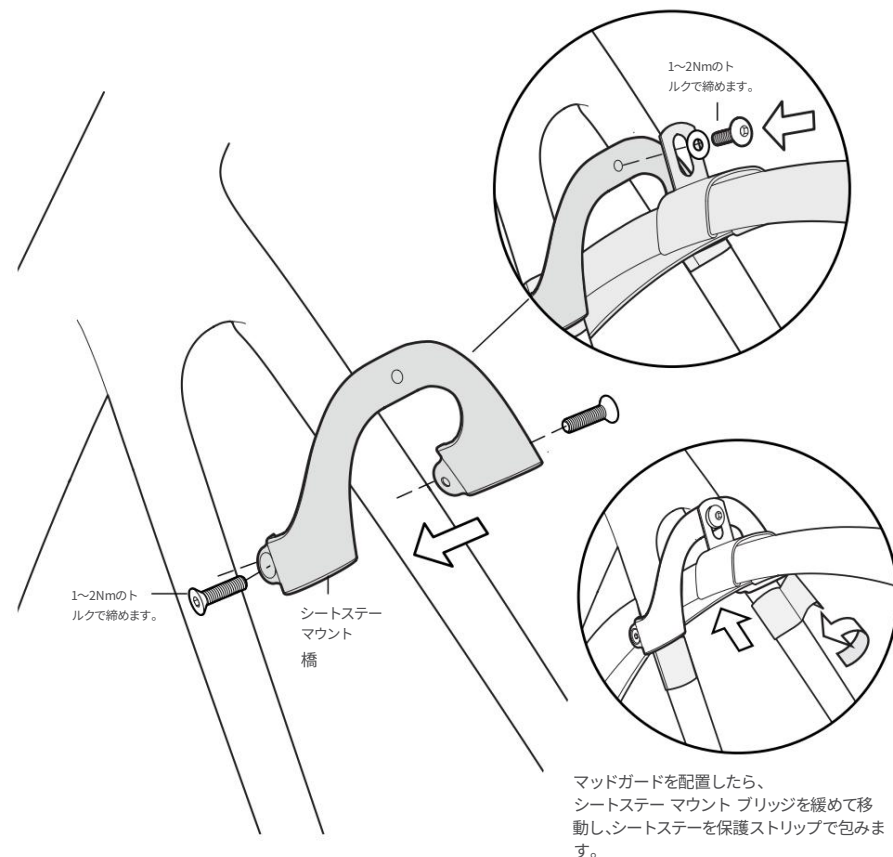
8. スルーアクスルマッドガードマウントを含む前輪を再度取り付けます。

9. マッドガードを取り付けて取り付け完了
軽くグリースを塗ったM5固定ネジを使用して、ステーをマッドガードマウントに固定します。トルクは3Nmです。

10. フォーク固定ネジを3Nmに締めます。

11. 後輪を元に戻し、マッドガードステーを取り付けます。
前輪ごとの手順。

12. マッドガードを所定の位置に調整したら、
製造元の指示に従って、シートステーマウントブリッジの下にフレーム保護ストリップを取り付け、固定ボルトを 1 ~ 2 Nm のトルクで締めます。



CALEDONIA-5 および CALEDONIA リテーラー アセンブリ マニュアル

www.cervelo.com

CER-CFA-V1 2020年1月15日

cervelo